

令和3年度（2021年度） 明石市地域自立支援協議会

しごと部会 リポート Vol. 30 令和4年（2022年）2月24日発行

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会 事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター 1階）
電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

B型事業所ネットワークの活動報告①

～2021年10月15日のネットワーク会議・「きずな（明石高校・明石清水高校）」販売の実績報告～

みなさま、こんにちは。 しごと部会B型ネットワークの担当をしています人見 夏花と申します。

昨年度は、コロナ渦で、活動の自粛を余儀なくされましたが、今年度は、なんとかリモートではありますが、開催（2021年10月15日・1月11日）することができました。各事業所からは、日頃の支援状況、特にコロナ渦での状況を報告していただきました。ブランクにより、皆様「待ってました」とばかりに、盛沢山の話しをしていただき、時間が足りない程、良い情報交換の場を持つことができました。



さて、B型事業所では、障害のある方々の「はたらく」ことを軸として、特性に合わせた仕事の確保や工賃の確保（より良い工賃の支払い）などを目標に、障害のある方々がやりがいを持って取り組めるよう支援することが求められています。しかしながら、この目標を達成するには、事業所内での日々の努力だけでは、解決できない課題や困りごとがあるのも事実です。

B型ネットワークでは、そのような課題や困りごとを持ち寄り、意見交換することで、例えば共通の悩みがあることで共感し安心感を得たり、解決の糸口を見つけることができたりします。また、講師による勉強会を開くことで知識の習得を図り、販路の拡充を図ることで地域や社会に障がいのある方々の頑張りを広げることができたりと、プラスとなる取り組みができる場であると思っています。そして、各事業所内での支援力の向上につながり、しいては各事業所で働く障害のある方々、一人ひとりのステップアップへ繋げていける、そんなネットワークづくりを今後も行っていければと思っています。

最後になりましたが、各事業所からいただいた貴重なご意見を来年度へ繋げていければと思っていますので、今後とも取り組みや活動へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2021年10月15日(火)開催(オンライン開催 18名参加)

(今後の活動についての意見)

- ・コロナ渦で他事業所の活動が分からなかったことが不安だった。
- ・久しぶりに職員同士で顔を見て笑えたので良かった。緩く話したい。
- ・顔を見てマスク無しで話したい。
- ・一人ひとりの顔を見れて嬉しい。
- ・顔を合わせて集まる場所を続けてほしい。
- ・長く勤務している人の思いや経験談を聴きたい。

(新型コロナウイルス拡大による利用者や家族等の影響)

- ・濃厚接触で自宅待機があった。
- ・ワクチン接種の副反応を懸念し、休む人が多かった。
- ・在宅が不安で通所をしたいと希望される人もいた。
- ・怖いと言い、休み続けている人がいる。
- ・自粛により、うつ状態、昼夜逆転になった人がいる
- ・イベントが減っているので物足りなさを感じている。

(工夫や良い影響など)

- ・コロナの正しい知識を得るため、勉強会をした。
- ・希望者に限り、公共交通機関の利用者は在宅支援を行った。
- ・交通機関利用者を全員、送迎に切りかえた。
- ・定員を半分にし、通所してもらっている
- ・新しい作業を模索している（販売網を駆使している）。
- ・コープでの販売は助かっている。
- ・利用者同士の繋がりが減ったので電話、メール、LINEを始めた。
- ・コロナの正しい知識を深めるために、職員が保健所の研修を受講し、利用者への伝達を行った。
- ・製品のネット販売を行っている。福祉だけでは限界があるので企業と繋がる必要がある。
- ・夏休みなどの時期に学童に営業（お弁当）をした。春休み、冬休みのお弁当の売上が増加した。
- ・アロマ関係の作業量が増えた。
- ・新たにおにぎり販売を始めた。



(事業運営への影響(利用者確保、工賃保障、作業量の確保など))

- ・見学者・登録者が減少している。
- ・新規に受け入れもできなかった。
- ・毎年、事業所見学会を実施していたが、実施を見送った。
- ・自粛を促し、半数の人は、在宅支援に変更した。
- ・交通機関で通所している人が休むようになった。
- ・販売機会（バザーなど）の減少はモチベーション低下に直結する。
- ・製品を作っても販売する所がない。工賃に影響がでている。
- ・自主製品が売れないので内職に頼るが、十分な工賃保障ができない。
- ・海外からの製品がストップ。海外からの部品が調達されず、工賃が減った。
- ・内職の生産者が依頼を減らしてきた。
- ・イベントが減り、喫茶のお客さんも減った。
- ・年2回のボーナスカット。



「きずな(明石高校)」販売活動 参加事業所 12 事業所

開催月	食品	雑貨
令和3年4月 5月	サポートセンター曙	ステップあっぴ二見
6月 7月	木の根学園	居場所
8月 9月	リーフあかし	ラブアンドピース
10月 11月	こぐまくらぶウエスト	就労支援あーち
12月 令和4年1月	明石錦城の園	ワークスペースななかまど
2月 3月	ふれあい作業所	さくら工房

「きずな(明石清水高校)」販売活動 参加事業所 12 事業所

開催月	食品	雑貨
令和3年4月 5月	きっちんそら	就労支援あーち
6月 7月	リーフあかし	ステップあっぴ二見
8月 9月	木の根学園	居場所
10月 11月	ふれあい作業所	さくら工房
12月 令和4年1月	明石錦城の園	ラブアンドピース
2月 3月	こぐまくらぶウエスト	ワークスペースななかまど

※次回号もB型事業所ネットワークの活動報告（次回は、1月11日のネットワーク会議・「つながるマルシェ（コープこうべ）販売の実績報告」）を掲載します。

活動に関するお問い合わせ先 : 明石市地域自立支援協議会しごと部会 事務局
 明石市基幹相談支援センター（担当：南部）
 電話：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134 E-mail：t.nanbu@pure.ocn.ne.jp